

2025年日本民間放送連盟賞「放送と公共性」 HBCの“アイヌ差別に関する一連の報道”が優秀賞を受賞

HBC北海道放送が放送したアイヌ差別に関する一連の報道が、2025年日本民間放送連盟賞「放送と公共性」で優秀賞を受賞しました。

HBCが「放送と公共性」で受賞するのは2016年の「地方テレビ局の若手記者による飲酒運転防止に関するシリーズ特集」以来です。

【内容】

ゴールデンカムイのヒットやウポポイの開業。近年、アイヌ文化への興味関心が非常に高まっています。

一方で、杉田水脈元衆議院議員によるアイヌなどマイノリティに対する差別的な言動やインターネットのアイヌに対する差別的な言葉が波紋を広げています。あからさまな差別だけではなく、アイヌに対する「意図せぬ差別」。マイクロアグレッションの問題も近年顕在化しています。

アイヌ文化への関心が高まる中でも差別やヘイトが起きるのは、マジョリティである和人側がこうした問題をどこか「他人事」と捉えているからではないか。北海道の放送局としてメディアが伝えることの少ないアイヌ差別の問題と向き合い、継続的な報道を行いました。

【講評】

北海道放送は、近年、アイヌ文化への関心が高まる一方、差別やヘイトが未だに起きることに問題意識を持ち、その背景にマジョリティである和人がこうした問題を他人事に捉えているのではないかと、継続的に取材を重ねてきた。

差別問題に真正面から向き合うことで、差別を生みだす社会的構造を可視化した意義は大きい。ヘイトスピーチに対する盾となる取り組みであるとともに、アイヌ文化を奪ってきた経緯を掘り下げた厚みのある報道が評価された。

【お問い合わせ先】

HBC北海道放送 経営企画局総務部(広報担当)

TEL:011-232-5821



もっと世界が憧れる北海道を、実現する。